

2012年度 第2四半期 不二サッシグループ 決算説明資料

2012年11月7日
不二サッシ株式会社

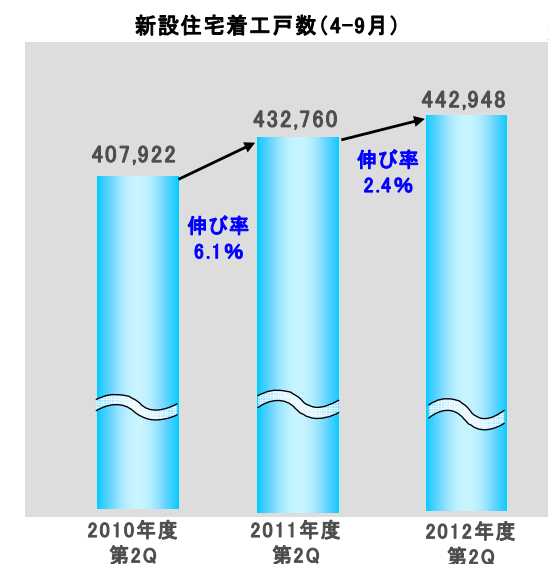
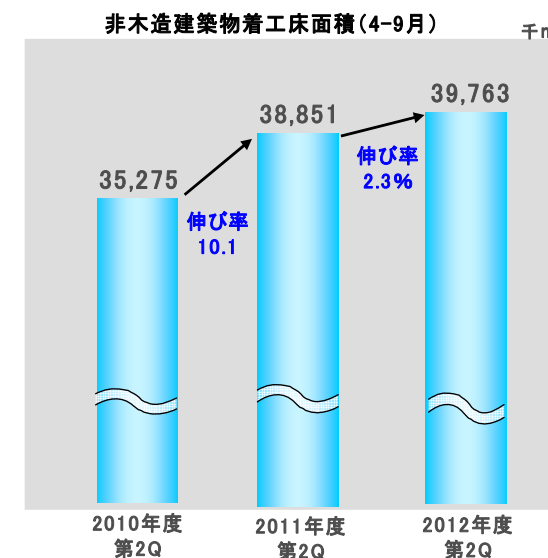
本資料で記述されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。そのため、様々な要因により、実際の業績は記述されている業績見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

I. 2012年度 第2四半期決算の概要

2012年度 第2四半期における事業環境

	2010年	2011年	2012年
	4-9月実績	4-9月実績	4-9月実績
非木造建築物着工床面積（千㎡）	35,275	38,851	39,763
前年比（伸び率）	11.1%	10.1%	2.3%
新設住宅着工戸数（戸）	407,922	432,760	442,948
前年比（伸び率）	6.2%	6.1%	2.4%

- ・建設投資の先行指標である建築着工床面積は、月毎のぶれはあるものの全体的には緩やかな回復基調が続いている。
- ・住宅着工戸数は、回復が鈍化しつつあるものの、復興需要が下支えし、緩やかな回復基調で推移している。



2012年度 第2四半期決算の業績について

(百万円)

	2011年度上期		2012年度上期			
	実 績		実 績		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	37,120	100.0	38,101	100.0	981	2.6
売上原価	31,914	86.0	32,394	85.0	479	1.5
売上総利益	5,205	14.0	5,707	15.0	501	9.6
販管費	4,904	13.2	5,138	13.5	234	4.8
営業利益	301	0.8	568	1.5	267	88.8
経常利益	18	0.0	291	0.8	273	—
当期純利益	△143	-0.4	143	0.4	287	—

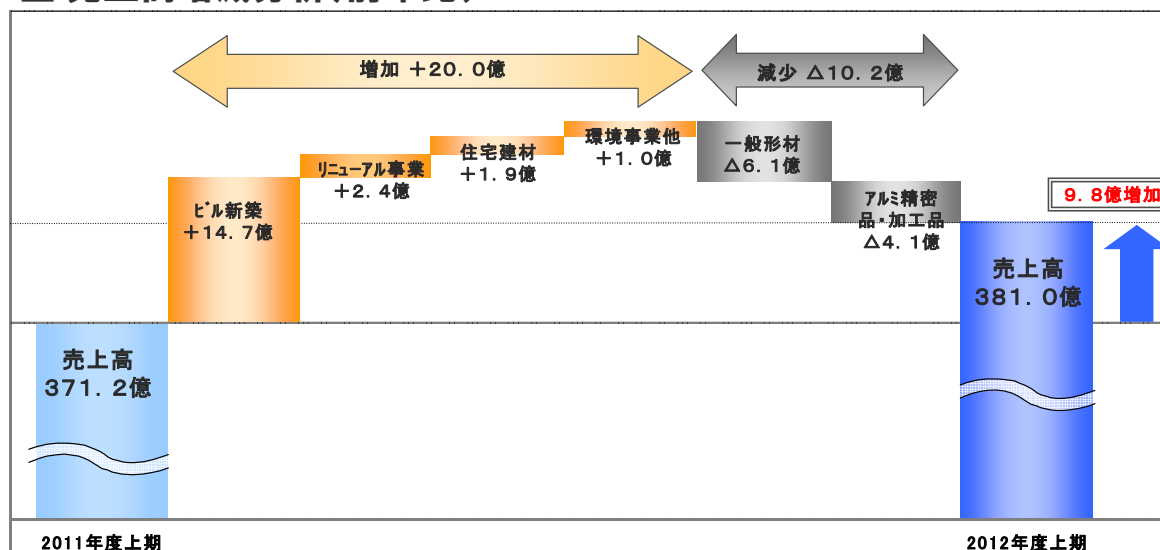
当第2四半期の当社グループの業績は、市場環境が緩やかな回復傾向にある中、ビル新築やリニューアル事業が堅調に推移し、形材外販事業のアルミ加工品等の落ち込みを補い、売上高は前年同期比＋2.6%の増収となりました。

利益面は、中期経営3ヵ年計画の収益改善施策の効果などにより、営業利益は前年同期比＋88.8%、当期純利益は、前年同期比2億8千7百万円増の1億4千3百万円となり、全体としては、増収増益のうえ、最終利益は黒字に転じました。

セグメント別 売上高

	売上高		
	2011年度	2012年度	
	上期実績	上期実績	対前年比
建 材 事 業	24,807	26,710	7.7%
			1,903
形材外販事業	10,336	9,312	-9.9%
			△1,023
環 境 事 業	1,306	1,398	7.0%
			91
その他事業	669	679	1.5%
			9
合 計	37,120	38,101	2.6%
			981

■ 売上高増減分析(前年比)

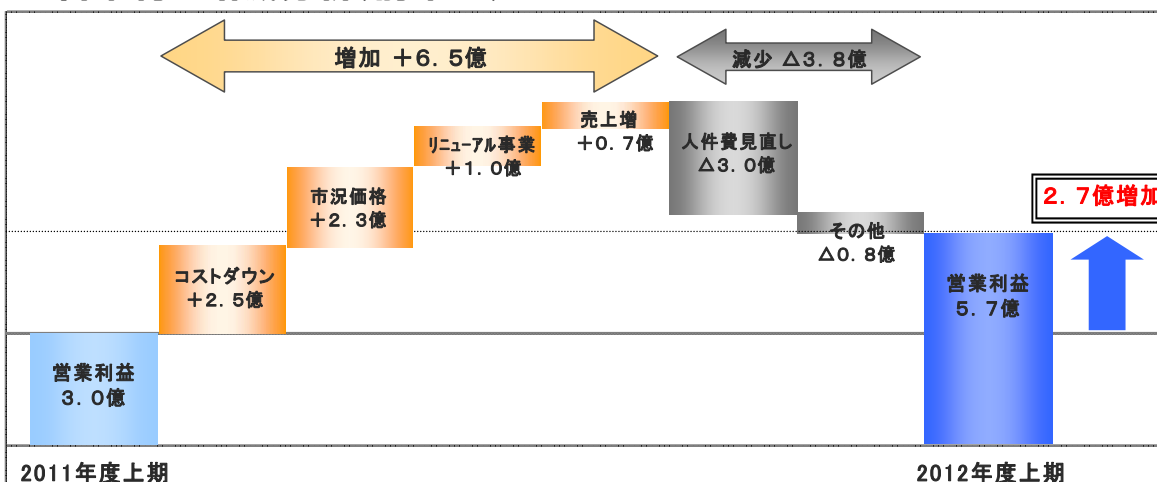


- ・主力の建材事業の売上高は、市場環境が緩やかながら回復傾向にあることや東日本大震災の復旧需要への対応に注力したことなどから、ビル新築・リニューアル事業・住宅建材が増加し前年同期比+7.7%、19億3百万円の増収となりました。
- ・形材外販事業の売上高は、アルミ加工品市場の低迷に加え、アルミ地金価格に連動し販売単価が下がったことなどから、前年同期比△9.9%、10億2千3百万円の減収となりました。
- ・環境事業の売上高は、メンテナンス工事および復興対応に注力した結果、前年同期比+7.0%、9千1百万円の増収となりました。

セグメント別 営業利益

	(百万円)		
	営業利益		
	2011年度 上期実績	2012年度 上期実績	対前年比
建 材 事 業	△87	695	782
形材外販事業	719	419	△299
環 境 事 業	76	74	△2
その他事業	141	67	△73
(消去又は全社)	(548)	(688)	(140)
合 計	301	568	267

■ 営業利益増減分析(前年比)



- ・営業利益は、増加要因として収益改善施策によるコストダウンで+2.5億円、市況価格のアップで+2.3億円、リニューアル事業の強化で+1億円、売上増加で+7千万円となり、合計で6億5千万円の増加となりました。
- ・減少要因としては、人件費の見直し等△3億8千万円があり、営業利益全体では、前年同期比+88.8%、2億6千7百万円増の5億6千8百万円と増益になりました。

II. 2012年度(平成25年3月期)の業績予想

2012年度 連結通期業績予想について

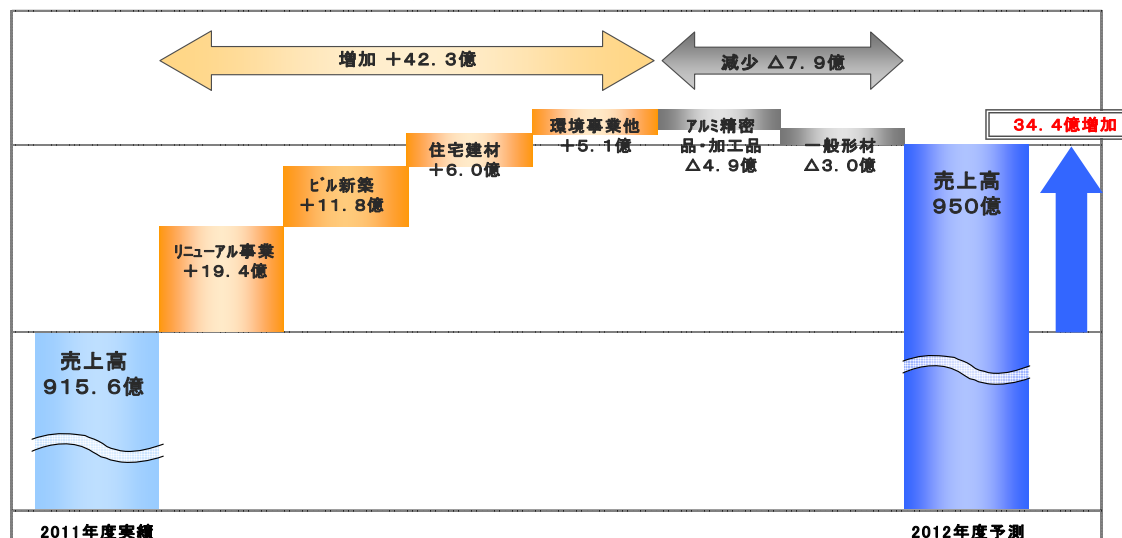
(百万円)

	2011年度通期		2012年度通期			
	実 績		公表・予想数字		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売 上 高	91,558	100.0	95,000	100.0	3,442	3.8
営業利益	2,048	2.2	2,500	2.6	452	22.1
経常利益	1,627	1.8	2,000	2.1	373	22.9
当期純利益	1,298	1.4	1,500	1.6	202	15.6

2012年度 連結通期業績予想 - 売上高

	売上高 (百万円)		
	2011年度 通期実績	2012年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	65,281	69,000	5.7%
			3,719
形材外販事業	21,786	21,000	-3.6%
			△786
環 境 事 業	3,138	3,700	17.9%
			562
その他事業	1,351	1,300	-3.8%
			△51
合 計	91,558	95,000	3.8%
			3,442

■ 売上高予想増減分析(前年比)

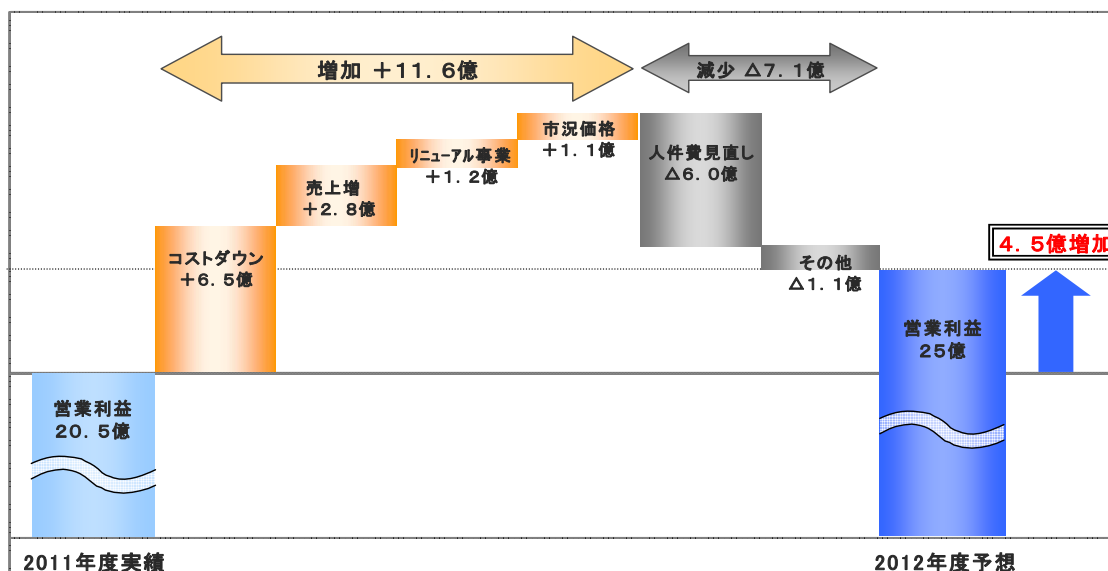


- ・建材事業は、リニューアル事業の強化およびビルサッシ事業の受注が堅調に推移していることなどから前年同期比+5.7%、約37億円の増収を見込んでいます。
- ・形材外販事業は、アルミ加工品市場の低迷が続いており、今後もこの分野の需要動向は厳しい状況が続くと予想されることから、前年同期比△3.6%、約8億円の減収を見込んでいます。
- ・環境事業は堅調に推移し、前年同期比+17.9%、約5億6千万円の増収を見込んでいます。

2012年度 連結通期業績予想 – 営業利益

	営業利益 (百万円)		
	2011年度 通期実績	2012年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	1,595	2,300	44.2%
			705
形材外販事業	1,125	1,100	-2.2%
			△26
環 境 事 業	311	330	6.1%
			19
その他事業	239	200	-16.3%
			△39
(消去又は全社)	(1,224)	(1,430)	(206)
合 計	2,048	2,500	22.1%
			452

■ 営業利益予想増減分析(前年比)



営業利益は、引き続き利益確保の営業活動に注力することや中期経営3ヵ年計画の収益改善施策の効果が、人件費見直しによる減益を補い、前年同期比+22.1%、約4億5千万円増の25億円を見込んでいます。

Ⅲ. 中期経営3ヵ年計画 (2011年度～2013年度)

中期経営3ヵ年計画の進捗状況

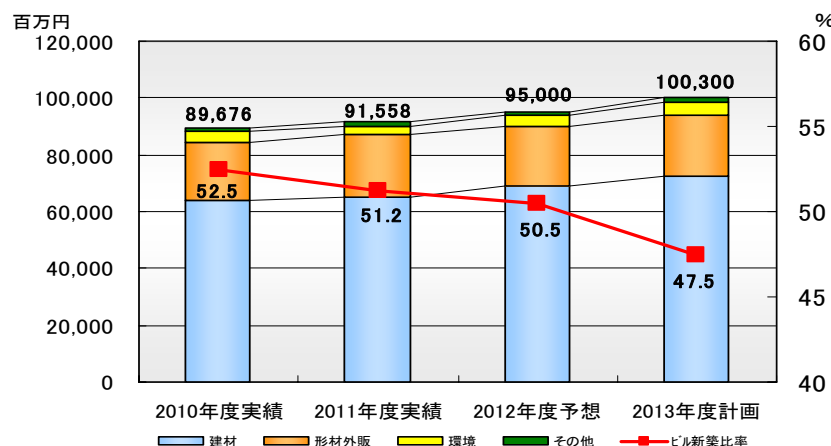
【連結】

(百万円)

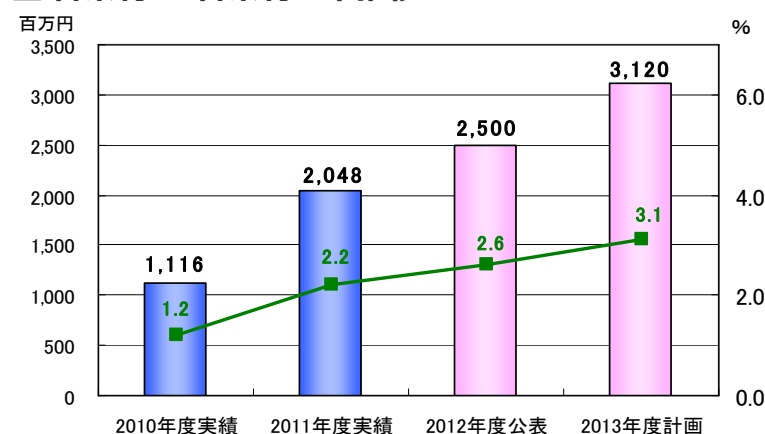
	2010年度	2011年度		2012年度			2013年度
	実績	中期計画	実績	第2Q実績	中期計画	通期予想	中期計画
売上高	89,676	94,900	91,558	38,101	97,550	95,000	100,300
ビル新築比率	52.5%	52.6%	51.2%	47.9%	50.5%	50.5%	47.5%
営業利益	1,116	1,580	2,048	568	2,190	2,500	3,120
営業利益率	1.2%	1.7%	2.2%	1.5%	2.2%	2.6%	3.1%
経常利益	640	1,050	1,627	291	1,660	2,000	2,590
当期利益	570	730	1,298	143	1,310	1,500	2,240
純資産	5,422	6,150	6,920	6,943	7,460	8,420	9,700
有利子負債残高	30,266	28,400	28,334	28,259	27,200	27,200	26,000

数値目標(最終年度)	
売上高	1,000億円
ビル新築比率	2010年度比 5ポイントダウン
営業利益率	3.0%以上
純資産	97億円以上
有利子負債残高	260億円以下

■ 売上高・ビル新築比率推移



■ 営業利益・営業利益率推移



IV. 2012年度 第2四半期 トピックス

不二ライトメタル KUMADAIマグネシウム合金「先端技術実証・評価設備工場」完成

マグネシウム合金の製品製造に必要な世界トップクラスの最新鋭機器が整備され、KUMADAIマグネシウム合金の実用化に向けた製造基盤技術の確立を行います。

本工場の完成により、アプリケーション開発側のニーズにあった試作品製造が可能になります。KUMADAIマグネシウム合金は自動車部品・航空機材・鉄道車両から医療分野など広く世界を狙える新素材です。不二サッシグループとして事業の柱に育てていきます。

KUMADAI/マグネシウム合金の全国・世界への波及

世界の関連産業に対し
日本の競争力強化

日本におけるマグネシウム
合金の優位性を獲得

マグネシウム関連企業の
拡大・集積化を誘発

マグネシウム関連の加工企業
や同合金を導入する製造企業
の拡大・集積化を誘発

高強度で耐熱性に優れている
KUMADAI マグネシウム合金を
用いた製品の製造は、優位性
を獲得

世界の素形材産業をはじめ
様々な日本の関連産業競争力
強化・維持に貢献

casting

● 世界初! KUMADAI マグネシウム合金専用 800 kg 溶解炉



KUMADAI マグネシウム合金の連続
鋳造や金型鋳造を行い、実用サイズ
の大型鋳造ビレットを製造します。
最大溶解量 800 kg の大型減圧型溶
解炉および保持炉を備え、これまで
基礎研究によって得られたフィルタ
リング技術や介在物除去技術といっ
た溶解・製錬技術によって、不純物
および介在物の少ない高品質な鋳造
ビレットができます。

加工

● あらゆる加工が可能な最先端加工設備



マグネシウム加工工場では、鋳造
棟で製造されたビレットを用いて、
精密切削加工、プレス加工などの成
形加工、摩擦撚接合など、多様な
アプリケーションに対応した加工が
可能です。



表面処理

● 多種の表面処理が可能な日本有数のマグネシウム合金専用処理設備



表面処理工場では、マグネシウム
表面に化学処理を行い、表面を保護
することによって耐食性を与えま
す。

前処理・表面処理の種類を選択す
ることによって、耐食性を向上させ
るだけでなく、塗装の密着性を向上
させたり、低電気抵抗性をもたせたり、
様々な特性を付与することができます。